初任者研修

特別支援教育の基礎的理解と対応

ASD 編

目次

１　ASD とは
２　三大症状（１）想像力の障害①想像する弱さ
３　三大症状（１）想像力の障害②こだわり
４　三大症状（１）想像力の障害③変化への抵抗感
５　三大症状（２）社会性の障害
６　三大症状（３）パニック
７　対応のキーワード「共感と共有」
８　対応のキーワード「視覚支援の有効性」
９　過敏性をチェックする

1　ＡＳＤとは

発達障がい、ASD とはどのようなものなのでしょう

【発達障害とは？】

そもそも、発達障がいとはどのようなものなのでしょうか？

社会的不適応 ＋ 発達の凸凹

＝ 発達障がい

ＡＳＤは発達障害の一つです。

ＡＳＤを日本語に訳してみましょう。

正解は…

ＡＳＤを持つお子さんはどんな特徴があると思いますか。

教室の中にいる ASD のお子さん

教室の中に次のような特徴をもつお子さんはいませんか？

当てはまったらチェックをつけましょう。

- □　急な予定の変更があるとパニックになってしまう。
- □　「〇〇博士」と呼ばれている。
- □　空気を読めないことが多い。
- □　相手の気持ちを汲み取るのが苦手だ。
- □　空想が激しい

チェックがついた場合、その子は ASD の傾向があるかもしれません。

〈ＡＳＤの三大症状〉

ＡＳＤのまめ知識

ＡＳＤは、アメリカ精神医学会が 2000 年に定めたＤＳＭⅣでは「アスペルガー症候群」「高機能自閉症」などと呼ばれていました。2013 年になって、新たにＤＳＭＶが提唱され、そこでＡＳＤ（Autistic Spectrum Disorder）という呼び方が使われるようになりました。

2　想像力の障害①　想像する弱さ

ASD の子どもにとって、時間割や授業の流れ等が「変化する」ことがどれほど影響が大きいものなのかを知りましょう。

相手の気持ちを予想するために人間は 心の理論 という機能を使っています。簡単な実験をします

①目の前にアーモンドチョコの箱があります。
②あなたが箱を開けてみると、中にはチョコではなく、鉛筆が入っていました。
③そこへ、何も知らない友人があなたのそばにやってきました。
④あなたは友人に「このチョコの箱の中に何が入っていると思う？」と聞きます。

友人は何と答えるでしょうか？ ＿＿＿＿＿＿

この質問に、ASD の子どもの中には「鉛筆」と答える子がいます。

相手の考えそうなことを予想する「心の理論」の発達に凸凹があるためです。

この凸凹によって、ASD の子どもは以下の課題を抱えています。

（１）相手の気持ちが読めない

「自分が楽しいから」と鉄道など趣味の話を延々とする。

（２）意図したように理解できない

「６年生らしく」など、曖昧な言葉を「察する」ことができない。

（３）言葉通りに捉える

「心で聴いてください」と言われ「心では聞けません」と返してしまう。

（４）空気が読めない

授業中、突然関係のない独り言や発言、行動をとってしまう。

望ましい行動を　教えて　できたら　ほめる

ASD の子ども達は、親や友達のしていることを「見て学ぶ」ということが苦手です。
「こんなこと教えなくても」ということこそ、「教えてほめる」をしてあげましょう。

演習①　趣味の鉄道の話を延々とするＡくん。友達は嫌そうな顔をしています。「相手の気持ちが読めない」「友達」「教える」の言葉を使って、指導の方法を下に書きましょう。

近くの人と見せ合って、いいと思ったものをメモしましょう。

演習②　曖昧な言葉を明確な言葉に変えてみましょう

６年生らしく　⇒

しっかりと　⇒

なかよく　⇒

３　想像力の障害②　こだわり

ＡＳＤの三大症状である想像力の障害。それはこだわりとなって現れます。

〈こだわりとは〉

「同じトイレでないと入れない」「同じ人形を持っていないと不安定になる」など、一見わがままのように見える行為です。
しかし、こだわりの多くは自分を安定させるためにやっていることが多いのです。
こだわりは３つに分けられます。

① 安定感を求める『こだわり』

小学校４年生アスペルガー症候群のＲくん。こだわりがあり、いつも透明な下敷きをいじってないと気が済みません。音が出てしまい、まわりの友達も少し気になっています。

あなただったらどう対応しますか？書いてみましょう。

物や趣味・行為に対しこだわりを持ちます。

→①安定剤であることを認め、②緩やかに制限をかける事が大切です。

① 認める　「下敷き触りたくなっちゃうよね。わかるなあ。」など
②緩やかな制限　「触るのは良いけど音はたてないようにしようね。」など

Challenge!　**実際に子どもがいるつもりで言ってみましょう。**

② 自分の興味優先の『こだわり』

AS 児の J くん。ブランコで遊ぶときに、どうしても順番を守ることができません。
何が何でも自分が一番にやらないと気が済まないのです。

あなたならどう対応しますか？書いてみましょう。

「１番になりたい」「勝ちたい」という気持ちからのこだわりです。

→①ルールを明確にし、②守ったときにほめることが大切です。

① ルールを明確にする　「順番を守っている絵を見せて説明する」など
②守ったときにほめる　はじめは守れないものです。一瞬でもできたらほめましょう。

③ロックオン現象による『こだわり』

小学校２年生の A さん。工作の時間、１ミリほどのズレが気になり、作業が進みません。
Ａさん自身もイライラしています。

あなたならどう対応しますか？書いてみましょう。

完璧主義、些細な箇所に対するこだわりです。

→①具体的な言葉を使う。②価値観を多様化する褒め言葉を用いることが大切です。

① 具体的な言葉　×「少しずつ」　○「１センチずつ」など
②価値観の多様性　「パワフルな作品だね。先生は好きだな。」など

4　想像力の障害③　変化への抵抗感

ASD の子どもにとって、時間割や授業の流れ等が「変化する」ことがどれほど影響の大きいものなのかを知りましょう。

ASD の子どもにとって、社会（学校）は変化に富み、見通しがきかない世界です。そのため**「変わらない」ものを心のよりどころにして安定をはかる子**もいます。毎週同じ時間割、今日も明日も同じ教室であること…それが変わると、よりどころを失って、パニックを起こす子もいます ASD の子どもは、**変化が極端に苦手**ということができます。

子どもが負荷に感じる「変化」には次のような物があります

（１）**時間割が突然変わる**

運動会など行事期間は変更が多く、負荷が大きくなります。

（２）**新年度に教室・人が変化する**

教室、通る廊下、担任や友人の変化などがストレスになります。

（３）**自分の予想と違う展開になる**

勝負に負けてパニックになる子は「『自分は勝つはずだ』という予定」

が崩れたことに抵抗を感じているのです。

予定は極力　変えない　変わる場合　予告をする

予定の変更は、ないに越したことはありません。学年ぐるみで、変更しない体制を取りましょう。止むを得ない場合や偶発的な場合は、予告しておくことで負荷を減じましょう。

演習①　「運動会の練習が間に合わないから、次の時間体育に変えて練習しよう」と言ってきた同僚に、変化に抵抗を感じる子の説明をします。「変化」「負荷」の言葉を使って、説明の言葉を下に書きましょう。

演習②　じゃんけんゲームをする前に、負けるとパニックになる子に、負けるかもしれないことを予告しておきます。「我慢できる？」を最後にして、予告する言葉を考えましょう。

我慢できる？

〇発達の凸凹が大きいうちは、予告しても耐えられない場合が多いです。パニックはわがままではなく、不安から起こるものですので、叱らずに落ち着く時間をとってあげましょう。

耐えられたときは、ほめて耐えるという行動を強化しましょう。

5　三大症状(2)　社会性の障害

興味関心のあることについての一方的な会話、ファンタジー（創造）の世界、それらは「社会性の障害」が関わっています。

その独特な世界観から浮いていたり敬遠されたりしがちです。

仲間はずれやいじめの対象にもなりかねません。

（１）積極的奇異型

人と積極的に関わろうとしますが、その関わり方は奇異です。自分が興味のあることについて「〇〇って知ってる？」などの質問をしたり、同じ話を繰り返したり、話の脈絡に関係なく話題にしたりします。「しつこいなあ」という相手の表情や感情には全く関心を示さず、自分本位の関わりを続けます。

（２）受動型

積極的に関わろうとはしませんが、人から話しかけられれば受け答えします。言われた通りに何でも行うことが多いので、 幼少時には遊びの仲間に入れてもらえるのですが、 大きくなるにつれ「つまらない子」「何でも言う事を聞く子」と見られ、しばしば仲間はずれにされたり、いじめの対象にされてしまう事があります。 また、私た

ち教師から見ても「おとなしくて目立たない子」と思われがちで、放置されてしまう（しまっている）可能性があります。

（３）孤立型

反応に乏しく、まるで他人が見えていないかのような振る舞いをします。呼ばれても来ない、返事もしない、話しかけても答えない…などということがあります。ほとんど表情がない子もいます。基本的に周囲の人に対して無関心なように見えます。

（４）大仰型

主に青年期以降に見られるタイプです。人付き合いのルールをかたくなに守ろうとしたり、 親に対してすら礼儀正しく振舞う子もいます。基本的に、語彙が豊富で言語能力の高い子が多いですが、場の雰囲気に合わせて言葉を使い分ける、という事は難しいようです。

望ましい行動を　教えて　できたら　ほめる

やはり「教えて、ほめる」しかありません。「今は〇〇の話をしているよ。この話が終わったらにしてね」「こういうときは〇〇って言うんだよ」などと教えます。できたら「その言い方は１００点満点だね」「〇〇って言ってくれて、うれしかったよ」などとほめます。

6　三大症状（３）　パニック

「もうダメだ！」と言って暴れだす、突然大泣きする、固まって何もいえなくなってしまう…。これらは「パニック」によるものです。このページでは、パニックについて学びます。

パニックとは、

通常のコミュニケーションがとれない

状態のことを言います。ですから、パニックを起こしている時、

教師の指導は全く意味がなく、叱るのは逆効果です。

パニック対応の原則５

１　担任が対応する

２　パニックの原因を遠ざける・消す

３　刺激を無くし、落ち着くのを待つ

４　落ち着いてから話を聞く

５　解決策を一つ決める

パニック対応の原則をもとに、次のページで演習をおこないます。

演習１　パニックが起こったら？

牛乳をこぼしてパニックになった太郎くん。

どう対応しますか。箇条書きにしましょう。

1 2 3 4 5

ASD の子供たちは応用がききません。同じことでも、環境が違うだけでパニックになります。その都度、根気よく対応しましょう。

演習２　パニックを予防するには？

勝負に負けるとパニックになる花子さん。
翌日のじゃんけん大会でパニックになるかもしれません。
パニックを予防するために、どうしますか。

パニックを起こさなかったら、すかさずほめましょう。

「耐える」という行動を強化することができます。

スキルアップ！　教えてほめる

パニックの解決策を決めたら、教師がやってみせましょう。
そして、子供にやらせましょう。
この時に「穏やかに、近づいて、静かに（CCQ）」に教えることが大切です。
怒るのは逆効果です。教えた通りにできたら、ほめましょう。

7　キーワード①「共感と共有」

ASD の子どもがなぜファンタジーの世界に入るのか、その行為の背景を知りましょう。

ファンタジーは子どもが自分の世界に入り込む状態です。不安から脳を守り癒す防衛反応でもあります。授業中にぼーっとしたり、好きなアニメのセリフを言ったりして自分の世界に入っているとき、授業で何をしてよいか分からない不安な状態になっている可能性があります。ファンタジーで不安を回避しているのです。
このような子どもに、「ちゃんと聞きなさい」と注意すると、ますます不安になり授業に取り組めなくなります。

常同・自己刺激的な行動

ファンタジーのほかにも、目の前で自分の手をひらひらさせて一定の光の刺激を入れて安定を図るフラッピングや、体を左右に揺らすローリング、椅子に座って上下に揺れるロッキングなど同じリズムで動くことで安定しようとします。また、爪噛み、指しゃぶり、貧乏ゆすりなどの自己刺激的な行動でも同様です。ひどい場合は、髪の毛を抜く、顔をひっかくなどの行動に発展します。
共感やセロトニン対応などで不安を和らげることが求められます。

ファンタジーの世界から子どもを連れ戻す「共感と共有」3 つのステップ

（１）同じ視点に立ち共感する

「〇〇戦隊の△△が好きなんだね。先生も知っているよ。」と子どものファンタジーの状態を受け止め、**頷きながら**やさしく話しかける。

（２）興味の転動を図る

「ああ、算数怪獣がやって来た。△△やっつけて！」とファンタジーの世界に一緒に入る**共有**をしてから、本来の活動に関連付けて話を振る。

（３）本来の目的･課題に帰着する

「問５番ノートに書きます。」と本来の課題に戻る。

演習　算数の授業中、Ａ君は教科書問題の練習③の問題を解かずに、鉛筆をロケットにして遊んでいます。どのように対応するか書きましょう。

近くの人と見せ合って、いいと思ったものをメモしましょう。

８　対応のキーワード②　視覚支援の有効性

目に見える形にする「視覚支援」はＡＳＤ傾向のある子にとってどんな意味があり、どんな種類があるかを知りましょう。

形や動きの安定を求めるＡＳＤの子どもにとって、一度聞いたら、

消えてしまう言葉に比べ、目の前にずっと残っている

視覚支援は安定感を感じます。

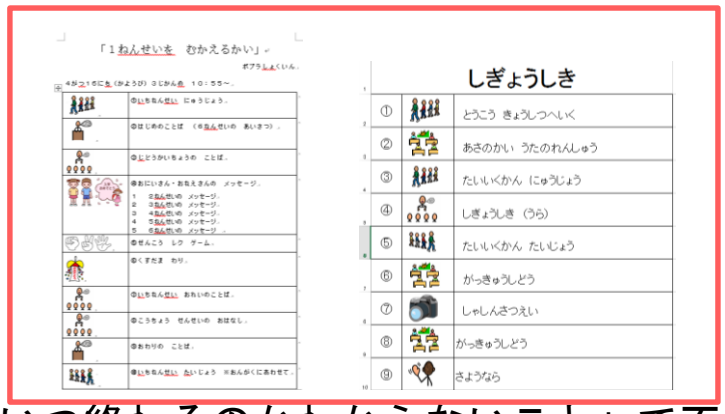
事例１
スケジュール

ＡＳＤの子ども達の中には、予定の見通しが立たないことで不安になる子、後どの位で行事があるのか知りたい子が多いです。その子にとって、上のようなカレンダーはどんな意味がありますか？

①休みの日がわかる。
②行事の日が後どの位でくるのかわかる。

終わった日は×で消していくのも有効ですね。

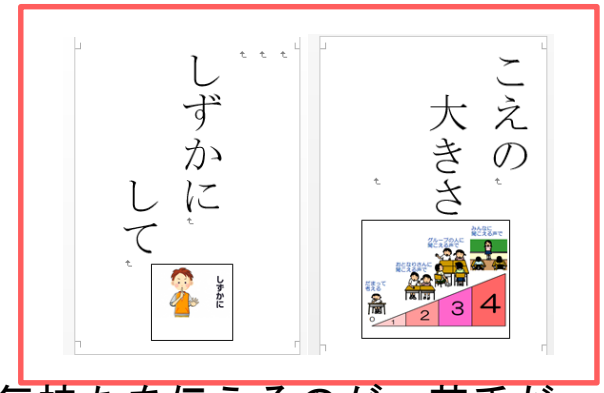
事例２
行事スケジュール



ＡＳＤの子ども達の中には、「いつ終わるのかわからないこと」で不安になり、行事で体が動いてしまう子がいます。上のような絵カードを作るとどんないいことがあるでしょうか？

①今行事のどの辺りにいるのかわかる。
②後どれ位で終わるのか数字でわかる。

文字だけでも効果はあります。



事例３

視覚支援カード

ＡＳＤの子ども達の中には、自分の気持ちを伝えるのが、苦手だったり、数値で示されない「兼ね合い」がわかりにくい子がいます。上のような絵カードにはどんないいことがあるでしょうか？

①子どもが伝えたいことを楽に伝えられる。
②伝えたい情報を絵を見せるだけで伝えられる。

パニックになった子にも目で見る情報だと伝わることもあります。

９　過敏性をチェックする

ASD の子どもは五感（視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚）が鋭かったり、鈍かったりする傾向があります。どんな過敏性があるかをまずはチェックしてみましょう。

過敏性は以下のような特異行動として表れます。

口目を覆う

□耳を塞ぐ

□偏食がある

□においに敏感である

□触られるのを嫌がる

□服や靴下を脱ぎたがる

□人の視線が気になる

【アセスメント】　事例から考えてみましょう。

先生に注意されたことにイライラした A くん。先生が触ろうとすると強く拒絶しました。A くんは先生に向かって「触るな！」と言いました。A くんの状態をアセスメントしてみましょう。

過敏性の原因は、脳の機能の不安定さが関係していることが分かっています。ストレスによりイライラしている時には、感覚が研ぎ澄まされ、過敏性が強く見られることがあります。

ポイント

（1）子どもを追いつめない

どんな刺激に対して過敏に反応してしまうのか、理解しましょう。刺激を減らしてあげられるような環境調整が必要です。

（２）望ましい行動を教える

過敏性による特異行動が出てしまったときには、適切な対処の仕方を教えてあげます。

（例）大きな音が苦手　→　ヘッドホンを与え、苦しいときに使わせる

覚えておきましょう

発達凸凹を放置すれば、凸凹の溝はより深くなり、

発達凸凹は障害になる

発達凸凹に対応できれば、凸凹の溝は浅くなり、

発達凸凹は個性に変わる

何かあったとき、「何で（どうして）～したの？」は過去を責める言葉です。子どももつらくなってしまいます。「どうしたら～できた？」　と、未来を共に見つめる言葉を使ってみましょう。

テキストの感想を書きましょう。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

～おすすめの本の紹～

「特別支援教育教え方教室 2013年11月号**３９号」**

向山　洋一・小野　隆行　編著　　明治図書

目次

特集　授業が上手くいく！脳科学のスキルＡ～Ｄ
スキルＡ　ドーパミン５を授業にどう取り入れるか
スキルＢ　対応力ＵＰをめざすセロトニン５トレーニング
スキルＣ　統率力に必要なノルアドレナリン５
スキルＤ　脳科学の成果を教育の場で有効活用するために
ミニ特集　外部専門家と連携指導の工夫　～ドクター編
『教育』と『医療』の連携で特別支援教育を強化する（第14回）
ポイントを外さない～特別支援の子の保護者への対応術（第8回）
学級担任に必要な「特別支援教育の基本スキル」（第12回）
誌上ＱＡコーナー　こんな時どうしますか　　ほか

発行日　2014年　月　日

執筆　TOSS/Carnival!3rd

代表：小嶋悠紀